



だまはぜ通信第12号

《私が子どもだった頃（後編）》 会長 相川 澄夫

大道小学校が学年8クラス約400名以上いて低学年のときは2部授業で、^{はやばん}早番、^{おそばん}遅番があり私たちにとっては遊ぶ時間がいくらでもありました。何をして遊んだか思い出しながら書いてみました。

春は侍従川でめだか、ふな、どじょう、たんぼではおたまじゃくし、ザリガニを捕まえ、ザリガニの身でまたザリガニを釣り、^{むぎ}麦の畑ではあおい麦の穂^ほをとって中の実^かを噛んでチュウインガムだなんて言っていました。山に行ってはサクランボや桑^{くわ}の実を食べ、口の周^{まわ}りを紫色にして夕方家に帰ったものでした。

夏は町内にあった^{ぼうかようすい}防火用水の水を消防団のおじさんたちが入れ替えて^か即席のプールをつくり、町内のガキ大将^{だいしやう}をはじめみんなが遊びました。

^{さか}暑い盛りになるとあちこちで赤痢^{せきり}がはやったり日本脳炎^{にほんのうえん}が発生したり、親たちには汚い川には絶対^{ぜったい}入って遊んではいけないと言われたものでした。たしかに今思い出してみると、

^{げすい}下水もなく生活排水^{せいかつはいすい}のたれ流しの川だった侍従川は草ぼうぼうで、^{きたな}汚く臭いどぶ川^{くさ}だったと思いま



ホソミオツネトンボ

学名： *Indolestes peregrinus*

「ホソ・ミオツ・ネン?」「ホソミオツ・ネン?」…この名前を聞いて何のこっちゃ??と思われる人は多いのではないのでしょうか。

このトンボは成虫で越冬する変わったトンボです。そのため漢字で『細身越年蜻蛉』と書きます。つまりオツネンとは「年を越す」という意味なのです。

ということで、答えは「ホソミ(細身)・オツネン(越年)・トンボ(蜻蛉)」ですね!

解説：佐野 真吾

す。それでも隠れて川やたんぼに行ってカエルを捕まえて、おしりに麦の莖やストローを刺しておもいきり息を吹き込みカエルのお腹が風船みたいに膨らみパンと破裂させたり、アカガエルの身は焼くとうまいと聞き、捕まえてたき火で焼いて食べたり、へびのしっぽを持ってぐるぐる振り回してみたり、トカゲのしっぽをちょん切ったり、毎日が新しい発見で楽しい体験でした。

今のスーパー横浜屋のところが大堰のところまでたんぼで、夜には蛍がいくらでも飛んでいて、うちわで叩くとおもしろいほど捕まえられ、家に持ち帰り蚊帳の中に放して遊んだりもしました。

トンボどろと言っていたオニヤンマをとることが自慢だったり、セミ、かぶとむし、クワガタ、カミキリムシなど昆虫はいくらでも身の回りにいました。



知り合いの若い衆が川の上流でトラックのバッテリーの電極を水の中に入れて魚を感電させてうなぎを捕まえていたのを見たこともありました。

秋には山ではあけび、栗もぎ 栗の渋をむいてコリコリした生の実を食べたり、民家の柿がたくさん実りどこの家の柿が渋いか甘柿がよく知っていました。

秋の十五夜のお月見には、線路で電車で轆かかせて平になった5寸くぎを竹の棒の先に着けたモリで、暗くなってからよその家のお月見のお団子やお供えの果物などそおっといただきに行き、ときには失敗して見つかってどなられたりスリル満点の遊びでした。

冬は12月も暮れが近くなると原っぱで凧揚げに夢中でした。より高くなかい時間飛ばせるか、こま回し、竹うま、など年長のガキ大将から教えてもらいました。

めんこ、ビー玉、ベーゴマ、ちゃんばら、戦争ごっこ、等々、書いていると子どもの頃のあの子この子と顔や名前が浮かび、今は60から70歳になる皆がなつかしく思い出されます。



ハゼ釣り大会

【活動報告その1】

9月19日(日) 9:00~15:30

於: 汐見橋、ちとせ園

記) 加々美雄也

参加者 50名

厳しい残暑の中、「ハゼ釣り大会」が行われました。今回の参加者はほとんどが初参加ということで、ドキドキ・ワクワクな気持ちでいっぱいだったと思います。

午前中は汐見橋で早速、釣り開始。竿は細川さんが山で切り出して用意してくれた竹と、侍従川で切り出したセイタカヨシを使い、仕掛けは竹内さんがレクチャーをしてくれました。

みんなで山田さんのハゼ釣り大会の説明や竹内さんのレクチャーを真剣に聞き、実際に自分たちで竿に仕掛けを一生懸命取り付けていました。始めは緊張していた子どもたちも徐々に慣れ、楽しくハゼ釣りをしていて、釣れた魚を持って「みてみて!釣れたよ!」と大喜び!

みんなで見せあいっこして楽しんでいました。

今回釣れた魚は…

マハゼ(約7センチ)40~50匹、チチブ100匹ぐらい、ピリンゴ7匹、コトヒキ10匹、チチュウカイミドリガニ2匹、ヤマトオサガニ1匹、道を歩いていたベンケイガニ1匹

たくさん釣れて大満足でした!

そして、今回のハゼ釣り最多賞は相川いつき君です。

おめでとうございます!

ハゼ釣りの後はお昼を挟んで、魚の捌きを井上君・私 加々美のレクチャーのもと、子どもたちみんなで魚を捌きました。最初は「気持ち悪い!」「怖い」と言っていた子どもたちも、たくさん捌いているうちにプロ並みに達しました。みんなでいっぱい魚を釣ったため捌くのは凄く大変でしたが保護者の方々も子どもたちもみんなで協力しあい見事すべて捌ききりました。

やったー



最後に、みんなで捌いた魚を天ぷらにして食べるために、荒川さんの指導のもと調理をしました。自分たちで釣った魚は格別に美味しかったようで、すぐに完食してしまいました。

普段の生活の中で、このような体験はなかなかできないと思うので、今回の様にみんなで協力しあい一緒に自然の中で遊ぶというのは本当に気持ち良かったです。私の楽しい思い出の一つとなりました。それと沢山魚を釣った侍従川をいつも掃除など管理してくれている侍従会の方々にも感謝の気持ちでいっぱいです。おかげでみんな沢山釣ることができました。ありがとうございます！



9月定例クリーンアップ

【活動報告その2】

9月26日(日) 9:00~12:00

於：大道橋～青木橋

記) 細川一雄

参加者：長野政治、長橋輝明、西澤博厚、角田繁、八木場紀元、外川忠志、廣瀬隆夫、河本充雄、山田陽治、米塚友理、金子英司、古寺航輝、埜田匡、高舟台小5年、細川一雄(15名)

漸く猛暑が落ちついたが、まだまだ暑い日曜日午前9時、前日の山田さんのクリーンアップ参加への案内メールが功を奏し、子どもたちが多く参加してくれました。

カマを使えない子どもたちには、下流の大道東橋から大道橋までのゴミ拾いとカナムグラの引き抜き除去をお願いし、大人たちは大道橋上流の草刈りとゴミ拾いを行いました。

猛暑のため草刈りができなかった青木橋付近は半年分の草が伸び放題、しかも川底が斜めに傾斜していて濡れている斜面ではうっかりすると滑って転んでしまうので、足元に注意しながら作業を進めます(カマを持っての作業ですので変な転び方をすると大怪我をさせていただきます)。

久しぶりに人数がそろって、草刈り作業もはかどります。作業開始後1時間ほどで休憩をとり、日陰に避難して冷たい飲み物で喉を潤おし15分程休んでから、作業再開。

刈り取った草をビニール紐で束ね、道路上に運ぶ作業も草



刈り以上に体力を使います。今回も外川さんが参加してくれましたので、最後の力を振り絞り、刈り取った草を束ね、車に積み込み県営住宅跡地に置いて12時過ぎに作業を終わりました。

県営住宅跡地では、大道町内会の人たちが草刈りをしていました。

千歳園で汗を乾かし、再度冷たい飲み物（生き返ります）で体を冷やしてから草々に解散しました。



秋の朝比奈の森たんけん

10月3日（日） 9:00～

【活動報告その3】
記）瀧本宏昭

10月3日に秋の朝比奈の森探検を行いました。秋の長雨の後ということもあり多くのキノコを見ることができました。今回は、飯村優介さんもアドバイザーとして同行して下さった事もあり、多くのキノコのことを学ぶことができる探検になりました。参加してくれた子どもたちはもちろんその親御さん方も初めて見るキノコに興味津々。



突くと煙のように胞子が中から出てくるツチグリ、パンのようにふっくらとまんまるほわほわのノウタケ、赤い大きなカサが目立って食べるとおいしいタマゴタケ、少し黄色がかった猛毒のドクツルタケなどその他にもたくさんのキノコを観察しました。森を回った後は、お弁当と採集してきたキノコを調理して腹ごしらえ。とってきたキノコはそれぞれが味に特徴があり、全種類おいしくいただきました。その中でも、好評だったのは、タマゴタケでした。



昼食後は、森の中で引き続きのキノコ探しと、ターザン遊びでおもいきり森を満喫しました。

大人も子どもも学べる大きな森をこれからも大切にしていかなければいけないと感じました。



定例クリーンアップ

【活動報告その4】

10月24日(日) 9:00~12:00

於：大道橋～中野橋

記) 細川一雄

参加者：八木場紀元、西澤博厚、長橋輝明、角田繁、村田章夫、廣瀬隆夫、細川一雄
(8名)

10月も後半となると、メンバーを悩ませていた蚊の大群もあまり出なくなり、また気温も湿度も低くなって、草刈り作業が大分楽になってきました。

虫たちが冬眠の準備を始める時期となった今月から、今まで草刈り作業を行っていなかった中流域(大道東橋～大道橋)の作業を開始しました。

大道橋から川に降り、下流に向かって約7ヶ月間延び放題になっていた草を刈り始めました。特に数珠っこ、ススキ、背高泡立ち草や蒲など1m以上に育った草やカナムグラなどが密集し、まるで開墾地に入っているようでした。

毎年今頃は加倉橋の下に銀杏の実が落ちていて、作業終了後に拾い集めてお酒のつまみにしていましたが、今年は誰かが先に拾ってしまった様で橋の下に銀杏の皮だけが沢山捨てられていました。その為橋の周りに銀杏特有の異様な臭いが立ち込めていました。

中野橋までゴミ拾いと草刈りを行い、下っていきます。刈り取った草はビニール紐で束ね、車が手配できないため、次回のクリーンアップの時に引き上げられるように橋の近くにまとめておいて置きました。

途中草の中からコンビニ袋に入れられた家庭ゴミとキャッシュカードを回収して作業を終了しました。カードは念のため寺尾さんが交番に届けました。また沢山の数珠っこを寺尾さんがお土産に持ち帰りました。



とんぼ池の大掃除

【活動報告その5】

10月31日(日) 8:30~15:30

於：大道小学校

記) 押田 健

最近トンボ池から水が漏れてきて困っていました。トンボ池にブルーギルがいるとの情報もあり、5年ぶりに水をかき出して生物調査と修復作業にとりかかることにしました。

おかげさまで当日は、子どもたちや先生、まちな人などたくさんの人手が集まりました。懸案だったザリガニとブルーギルを駆除し、粘土で池の土手を固めることができました。お昼と作業後には、おいしい豚汁とすいとんを味わうことができました。生い茂っていた葦は適度に刈り込まれ、全体的にすっきりとした池となりましたが、また春にはたくさんの生き物や水草でにぎわうことでしょう。

<捕れた生き物>

メダカ：1600匹(金曜日分500匹含む)、モツゴ：50匹、ギンブナ：25cmぐらい3匹、ドジョウ：40匹、ナマズ：60cmぐらい1匹、ブルーギル：15~20cmぐらい4匹、5cm以下120匹、ヨシノボリ：25匹、コシアキトンボ：30匹、シオカラトンボ：15匹、ギンヤンマ：1匹、ヌマエビ：2000匹、アメリカザリガニ：60匹、カワニナ：3匹、インドヒラマキガイ：15匹



ブルーギル、アメリカザリガニ、インドヒラマキガイは外来生物のために除去(残りは保護した後に池に戻します)、そのうち、ブルーギルは外来生物法(日本の在来の自然に影響を及ぼしていたり、恐れがある生き物を規制・防除する目的で制定)に指定された特定外来生物で、生きたまま移動や売買、飼育した場合は懲役3年以下、300万円以下の罰金刑に処分されます。特定外来生物だけでなく、国内在来生物でも、他地域の生き物は(国内)外来生物と呼ばれます。むやみな生き物の放流はやめましょう。(山田)

侍従川魚捕り

11月21日(日) 9:00~

【活動報告その6】

記) 山田陽治

11/21(土)、翌日の「金澤水の日」での侍従川水族館に向けて、ジュニアメンバーと魚捕りをしました。午前中は中流域で川に入って魚捕り。午後は下流域で魚釣り。

晴れてるとはいえ、水は冷たかったです。皆さまお疲れ様でした。捕れた魚類は調査データに記載。



トピックス

- ◎9/13(月) 神奈川県横浜治水事務所との意見交換会…長橋、細川、山田が対応
- ◎9/24(金) パタゴニア ベイサイド アウトレット「ボイス ユア チョイス」スタッフ説明会…山田が対応
- ◎10/18(月) 大師高校 体験授業で侍従川来訪…相川会長、飯村が対応
- ◎10/31(日) 大道小学校とんぼ池大掃除…ブルーギル捕獲 ※詳細は別途記載
大道コミュニティハウス文化祭で、とんぼ池で捕れた生き物を展示
- ◎11/2(火) 六浦小学校3年生 侍従川グループが侍従川調べ…山田が対応 ⇒
- ◎11/14(日) 金沢自然探検グループ 朝比奈の森探検…山田がガイド
- ◎11/19(金) パタゴニア ベイサイド アウトレットでボイス ユア チョイス発表会 &交流会…江崎、山田が参加
- ◎12/13(月) 笠間小学校4年生に侍従川の森から海までをレクチャー…山田が対応
- ◎12/17(金) 業者による草刈りが行われた(ちとせ園~大道東橋)
- ◎高舟台小学校5年生総合学習
 - 9/10(金) 侍従川探検…瀧本、山田が対応
 - 9/21(火) 侍従川下流調査…山田が対応
 - 9/14(火), 9/24(金), 9/29(水), 10/12(火), 10/21(木), 10/27(水)
「侍従川への取り組み」…山田が対応
 - 10/29(金) 「侍従川への取り組み」発表会



金澤水の日

11月21日(日) 9:00~15:00

【活動報告その7】

記) 島村真依

11月21日(日)に野島公園で第17回金澤水の日が行われました。侍従会は侍従川水族館として、侍従川の生き物を展示しました。

小学生を中心に展示された生物を説明したり、生き物にさわりたいお客さんにさわってもらったりと積極的に参加できたのではないかと思います。

お客さんも侍従川の生き物を興味深く見たり、熱心に説明を聞いたりしていました。

その他の参加団体はペットボトルロケットやソーラークッキング、工作教室などをやっていました。

どれも楽しく参加する事ができたので良かったです。

また、地域の人たちに侍従会を紹介する事は侍従川をより身近に感じてもらういい機会だと思うのでこのようなイベントにも積極的に参加していきたいです。



《侍従川流域 生き物発見記録》

☆ミシシッピーアカミミガメ…11/27 泥牛橋(侍従川中流域) 山田特派員

☆ヒドリガモ1♂ 3♀…11/27 新川橋(侍従川下流域) 山田特派員

☆コオイムシ採捕…11/28 ちとせ園付近(侍従川中流域) 河本特派員

《特派員募集!》侍従川流域の生き物発見情報求む! 初見や初鳴きなどの情報、貴重な生き物の情報をお寄せください。

侍従川らしくらく連絡網に登録してある方

ji_juugawa@ra9.jp 侍従川らしくらく連絡網へ

登録してない方

yohji-y@ezweb.ne.jp 山田へご連絡ください。



11月定例クリーンアップ

【活動報告その8】

11月28日(日) 9:00~13:00

於：中野橋~第二山王橋~二の橋

記) 細川一雄

参加者：長橋輝明、西澤博厚、角田繁、廣瀬隆夫、河本充雄、山田陽治、埜田匡、金子かほ、金子はやと、金子つばさ、細川一雄(計11名)

先月のクリーンアップで刈り取って束ねてそのまま川の中に置いてある草の回収を行うため、軽トラックを金沢文庫のトヨタレンタカーからレンタルし、今月のクリーンアップで刈り取った草と共に回収しました。



先月分の草を回収する班、草刈りをする班と下流の葦を刈り取る班の3班に分かれて作業を行いました。草の回収班は加倉橋と中野橋から草を回収し、県営住宅跡地に運びます。作業が終わると草刈りに合流。葦を刈る班は、来月から県の治水事務所が行う大道東橋~二の橋間の草刈りの前に大道東橋上流の葦を葦船用に確保して置く為に事前に刈り取りました(山田さんと子どもたち)。



草を刈る班は、中野橋~第二山王橋~二の橋間の枯れ草と水草を刈りました。

今回は第二山王橋上流左岸の深みに入り今迄刈り取れなかったススキ等も刈り取りました。

ススキや数珠っこは枯れてくると茎が非常に硬くなり、カマをナタのように大きく振り回さないと切れません。また、一杯に茂ったススキも同じように力任せにカマを打ち下ろして刈り取ります。その



為、カマの刃が欠けたり、曲がったり折れたりしてしまいます。今回もいくつかのカマが壊れ、まるで消耗品の様です。

また、千歳園前の枯れた水草を刈り取ると下からヘドロの様な土が出てきてヘドロ特有の臭いがしました。大道幼稚園裏の枯れた水草を刈り取った時も同じような臭いがしました。原因を調べる必要があると思います。

冬の源流の森たんけん ～自然観察&リース作り～

【活動報告その9】

12月12日(日) 9:00～

記) 成島みゆき

参加者：30名

恒例の冬の森探検が行われました。予報では寒くなると言われていたのですが、ぽかぽかとした日差しの中、楽しく朝比奈の森を歩いてきました。

リースの材料になりそうなどんぐりや木の実を拾ったり、小さな流れや水たまりに網を入れて生き物を探したり、紅葉を楽しんだり（真っ赤なもみじが太陽に透けて、とてもきれいでした!）……それぞれ好きな事をしながら三郎の滝まで歩きました。滝のあたりでは水の冷たさにも負けず、みんなで生き物を探しました。ヒラテテナガエビ、ホトケドジョウ、ダビドサナエのヤゴなど、12種類の生きものが観察できました。また、竹を採ってきて竹笛を作って遊びました。

その後も山を登って十二所果樹園を通り抜け、頂上に到着！少し遅めのお昼ご飯となりました。ご飯のあとは竹弓作りやリース作りをしました。作った竹弓を飛ばしっこする子、拾ってきた木の実をたくさん使ってリースを作る子、木登りをして遊ぶ子などなど、自分の好きな事を楽しんでいました。

少し風が冷たく感じる頃になって、下山を開始。途中寄り道をして、子どもたちはツルのターザンで遊びました。（それを見守りつつ、うらやましいと思っているであろう、大学生や大人たち……）遊び足りないながらも、暗くなってしまう前に急いで帰路に！……あれ、もしかして道を間違えたかも？というアクシデントがありつつも、最後まで楽しく歩きつづけることができました。みなさんお疲れ様でした。





水車小屋が完成しました。

掘り鉄管のサイズを小さく細くして岩盤を砕いています。
岩盤が硬いと1日に1cmも掘れない日もあります。



夢が形になる！



ポンプも順調に始動。井戸から水車小屋まで全長約90mの水道管が通りました。



水門の整備



今後の主な予定（12月～）

井戸の深さは**現在19m**を越えました。さらに掘れるところまで掘り進めて次に、井戸周りの整備を行っていきます。また、間伐材を利用したベンチやテーブルづくりも土・日を中心に行い、**2月13日(日)**の午前中には、「**大道村完成のお祝い式**」を盛大に行いたいと考えています。侍従会の会員のみなさん、力を貸してください。

土曜、日曜は学校へ行こう！ 村づくりをみんなでしよう！

侍従川生き物図鑑 No.10

～ カワセミ ～

(ブッポウソウ科)

学名：Alcedo atthis

体長：17センチ

見られる場所：中流域

青い頭と赤い腹が特徴で野鳥愛好家の間ではかなりの人気物の野鳥です。

侍従川では中流域の川沿いの木の枝に止まっている姿を見ることができます。

餌は主に魚や水生昆虫で狩りは水中に直接飛び込んだりして行います。



琉球生き物紀行 ～美ら島の生き物たち～

～ リュウキュウウラボシシジミ ～

学名：pitecopis corvus

前翅長：11ミリ内外

分布：沖縄本島北部、西表島

西表島と沖縄本島北部の深い山の沢に生息している珍しいシジミチョウの仲間、日本最小の蝶です。

羽の裏にあるほくろのような黒い点があるのが和名の由来です。

林道際に生えるモクタチバナ、タチアワユキセンダンソウの花を訪れます。

シジミチョウの仲間はほとんどが小型ですが、この種類はその中でも最小で林の暗い場所を飛ぶので見つけるのには一苦労しました。



監修) 熊井

虫のきょういく座談会

～生き物好きが語る～

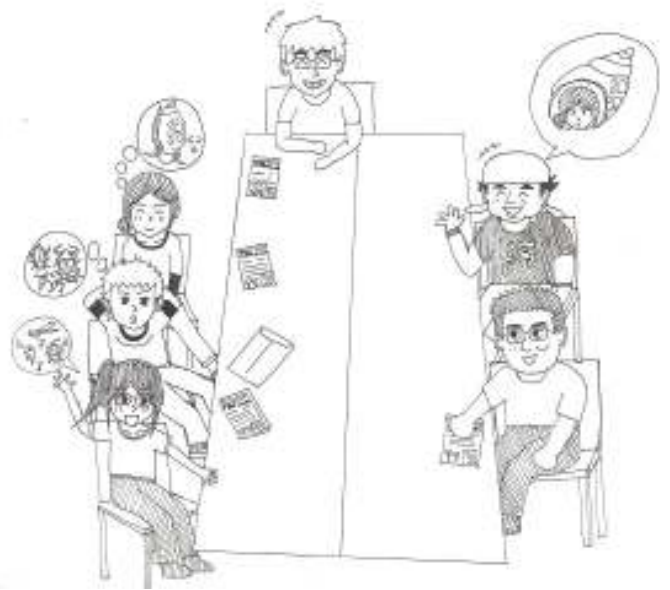
参加者：山田、井上、濱田、坂巻、成島、佐野

今回の座談会は某小学校の会議室にておこなわれた。大きな机を囲むように5人が座り、別に何てことはないのだが、いよいよ座談会が始まるという緊張感が漂っていた。

一同：「……」

佐野：「なんか初めて『座談会』って雰囲気になったね（笑）」

筆者佐野は目の前に座る濱田氏と左隣の坂巻氏を見た後山田氏と目を合わせて笑った。濱田氏と坂巻氏は佐野が通う大学の先輩と後輩である。会議室の雰囲気と昼間さんざん佐野に連れ回された疲れで（？）非常に静かである。



佐野：「じゃあ……まずは自己紹介からやりましょうか（笑）ムードメーカーの山田さんからお願いします！」

山田：「俺から？（笑）」

こうして自己紹介が始まった。山田→濱田→成島→佐野→坂巻→井上の順である。

山田：「坂巻さんってさあ？サカマキガイ（淡水に住む巻き貝の1種）って言われたことない？」

坂巻：「前に佐野さんにも言われました（笑）サカマキガイってすごく汚い環境でも住める貝ですよ？……（笑）」

こういった感じで途中山田氏の知的な質問（？）を挟みつつそれぞれ自己紹介は終了した。

佐野：「ではでは！実は今日は話したい話題があるんですよ！今日はそれぞれみなさんが生き物をどのようにみているかを聞きたいと思います！生き物のどういう所がどんなふうに好きなのかを話しましょうよ☆」

すると山田氏がすぐに反応を示した。

山田：「おお！！それだよ！！実は俺も同じこと考えてたんだよ！！ちょっとズレるかもしれないけど、大人になってから生き物を好きになれるのかな？もっと言えば生き物を対象に活動している人って元々生き物好きなのか、大人になってから好きになったのか？」

会議室の雰囲気に応じてか、珍しく山田氏はそれぞれに考えさせる話題を振ってきた。

山田：「濱田くんはミズスマシ（水面を泳ぐゲンゴロウに近い水生昆虫）を研究しているんだよね？濱田くんも子どもの頃から生き物が好きだったの？」

濱田：「いえ、まあクワガタとかキングョとかトカゲを飼ったりしましたけど、わざわざ虫を採りに出かけることまではしませんでした。それを始めたのは大学の研究室に所属してからですね。ですから生き物を始めたのは大人になってからです。」

山田：「へえ～。採ったりはしなかったんだ？なるほどねえ。じゃあ坂巻さんは？」

坂巻：「私はむしろ虫は最近まで苦手でした。触れるようになったのは最近ですよ。でも今は生き物とか自然に関係する活動をしたって思っています。」

山田：「なるほど！それがサカマキガイヒストリーか！」

坂巻：「はい…（笑）」

一同：「…」

井上：「はいはいそういうくだらないことはいいから！（笑）」

山田：「じゃあ井上くんは子どもの頃どうだったの？」

井上：「ウチは千葉県の長南町だったから、いろいろ生き物もいたし、裏山行ったり川行ったりしたよ。」

山田：「ちなみに井上くん今は何飼っているの？」

井上：「え？まあトゲチョウチョウオ等の海水魚にギバチとかオヤニラミとか淡水魚などなど…」

山田：「ほお～。まあまあだな。」

話がずれるのも毎回のことである…。

ご紹介が遅れたが、井上氏は生き物屋として侍従会に長く貢献してくださってきた会員の一人である。主に海水魚類の分野で活躍されてきた。

佐野：「話を戻してですねえ！（笑）山田さんの議題も興味深いんですが、僕が話したかったのはそういう話じゃないんですよ！人によって生き物をどういう主観で観ているか？ということを知りたいんです。例えばナル（成島）は生き物を『可愛い』という魅力で観ているけど、山田さんは『格好いい』って魅力で

観ているでしょ？」

成島：「それはやっぱり男の人と女の人では違うと思う！！」

坂巻：「あっ！それ私も思います！」

佐野：「そうなんです。今回女性2人いるからその話をしたかったんだよね！」

濱田：「なるほど！確かに男の人と女の人の子き物の見方は違うかもね！情のかけかたとか、可愛いと思う視点とか、思いもよらない違いがありそうだよ。」

山田：「なるほどねえ～！！…ところでもう20時過ぎてるけど時間大丈夫??」

一同：「！！」

こうして本座談会は未だかつてないほど切りの悪い終わり方をした。話は最初から最後まで何一つまとまらなかった。

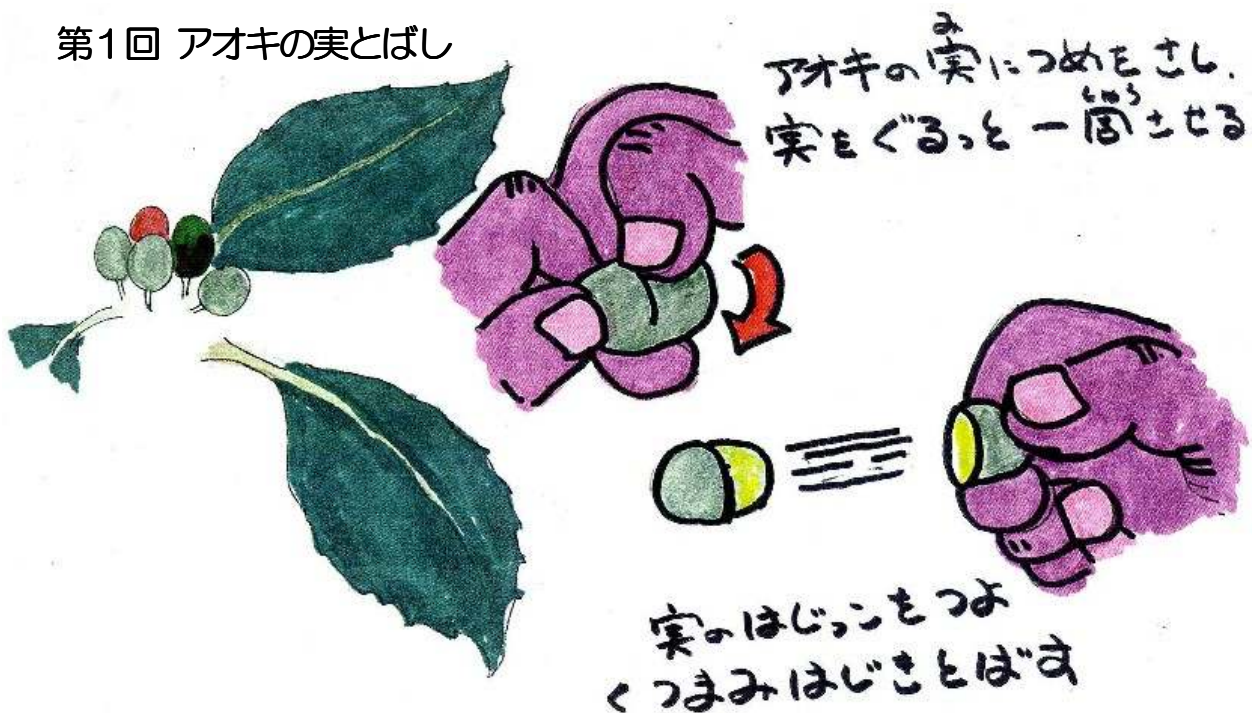
成島：「次回必ず続きをやりましょうね！！」

こうして一同は渋々解散したのであった。

新連載

『森の遊び人・山田陽治の自然遊び講座』

第1回 アオキの実とばし



アオキ トピックス…ミズキ科の常緑低木（冬でも葉っぱの枯れない、2m ぐらいの低い木）で、手入れのされていない森の中で繁茂している姿が見られる。藪は生き物の隠れ家になるが、日がささないために林床に植物が生えにくくなって単調な環境となり、単調な生態系につながる。また保水力の低下にもつながることも。

佐野真吾が語る侍従会の思い出 ～中1の冬、虫屋佐野真吾始動～

2001年2月のとある寒い日の夕方、私は学生部隊長の山田さんと二人で朝比奈小学校にいました。遡ること1年間前、朝比奈小学校ではビオトープ造りの話しが持ち上がったのです。その当時小学6年生で卒業間近であった私は、ビオトープのイメージ図だけを描かせてもらい完成を待たずして卒業したのでした。そして今日は、ビオトープ作成時に中心になって携わっていた山田さんとともに様子を見に来ていたのでした。

“山田さん”「今日はこれからちょっとアドバイザーに来てもらう予定なんだ！俺の高校時代の同級生でね。トンボの専門家なんだよ。侍従会の創設メンバーの一人でもあるよ。サノシンともきっと話しが合うと思うよ。」

それから待つこと15分、トンボの専門家のUさんがやってきました。Uさんはビオトープを観るなり、すぐにビオトープの現段階の状態や、やってくるであろうトンボの種類、ビオトープに入れる水草の選び方などの確にアドバイスをしてくださいました。正直その当時の私にはチンプンカンプンでしたが、すごいなあとなんとなく感じました。それから一通り視察が終わり、山田さんとUさん、私で、雑談が始まりました。

“山田さん”「Uくん紹介するよ。彼が中学1年生の佐野くん！ゲンゴロウとか遠くまで採りに行って飼育もしてるんだよ。」

“Uさん”「へえ～すばらしいねえ！僕も昔ゲンゴロウやってたよ。ゲンゴロウはレバーをあげるとよく卵産むよ！」

こうして3人は虫の話で盛り上がっていきました。

“Uさん”「佐野くんはヒメタイコウチって見たことある？あの虫は、普通のタイコウチと違って体も小さいし呼吸管も短かくて不恰好なんだけど、それが逆にカッコイイんだよ！！いい虫だよ！ぜひ探しに行ってみるといいよ。」

ヒメタイコウチは図鑑に載っているのを見たことはありましたが、実物はもちろん見たことがなく、図鑑にも詳しい説明が書いてないため、私にとってはミステリアスな昆虫でした。しかし、Uさんの話しがヒメタイコウチのミステリアス感をリアルにし、私の虫とり魂に火を付けたのでした。



日が落ちて、気温が下がる小学校の裏庭で、私はガタガタ震えながら胸の底から湧いてくるゾクゾクするようなワクワク感を感じていました。もはやこの震えが寒さなのか嬉しさなのか分かりません。世界は本当に広い、こんな人が世の中にはいるんだ！そして今すぐ虫に会いに行きたい！私はUさんとの出会いと、これから会いに行く虫たちに心から喜びを感じました。この日の会話は今でも忘れません。こうして若き日の佐野少年は期待と希望を胸に暗い夜道を飛び跳ねながら帰宅しました。そして帰るなり“ただいま”も言わずに「ヒメタイコウチ採りに行きたい！！」と叫んだのでした。

この日のことがきっかけとなり“虫屋佐野真吾”は破竹の勢いで活動を開始したのです。Uさんからヒメタイコウチの話しを聞いた1か月後の3月、両親に頼んで愛知県まで連れて行ってもらいヒメタイコウチを採りました。ヒメタイコウチは、形も不恰好で翅があるのに飛べない虫で、水生昆虫なのに水の中にはいないという非常に変わった虫でした。そして、Uさんが言った通り本当に魅力的な虫でした。さらに、この年は私にとってもう1種類憧れの虫と出会えた年でした。それは5年前から探し続けてきたタガメです。こうして佐野少年はよりいっそう虫の世界へと踏み込んでいくのです。



話は10年後の今に戻し、23歳の現在の私は、当時憧れていた虫のほとんどを採集しました。しかし、採れば採るほどさらなる採集難易度の高い虫が現れ、今は10年前とは違う憧れの虫がいます。しかし、憧れの虫を探している時のゾクゾクと湧き起こる感情と採った時の震えるような喜びは今でもまったく変わりません。また、自分と同じ匂いのする人と出会えることも私にとってこれほど嬉しいことはありません。今ではUさんのように自分より何十倍も知識経験を持った人がたくさんいることを知りました。また、自分と同じ匂いになりそうな人と出会うことがあることも知りました。そんな人たち、虫たちと出会えて心が動くというのは幸せなことですね。

“虫屋佐野真吾”が進む広い世界はまだまだこれからです。

『佐野真吾が語る侍従会の思い出』 つづく

源流の森から海まで身近な侍従II。海辺のクロマツ林がまたおいしい。
春～梅雨、初秋～晩秋と2回発生ピークがある。

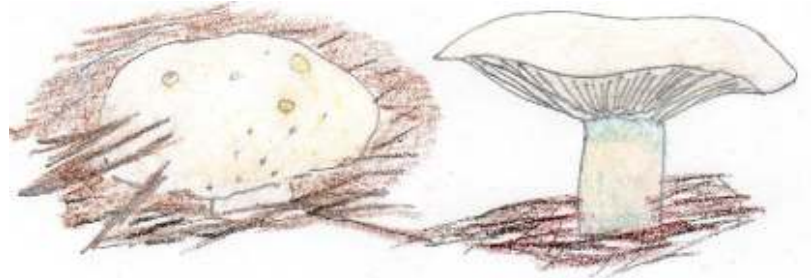
シロハツ

ベニタケ科の食用キノコで傘は径9～13cm特大20cm。丸山形からじょうご形に開く。
白色～クリーム色。柄はかすかに空色がかかる。

海辺のクロマツ下に梅雨頃と秋雨頃の2期。味はおだやかでよいだしが出る。

雑木林に出る近似種は辛くて食べられない。

海辺のクロマツ下のシロハツのみ食。



シロハツ(食)

ハツタケ

ベニタケ科。傘は5～10cm、傷つくと肉が緑青色に変色していく。

濃い環紋が傘にあるのがハツタケで、全体がオレンジ色で環紋のうすいのがアカハツ。

大変香りが良く、旨味とコクのある良いだしが出る。初茸ご飯から煮込み料理など特に美味だ。

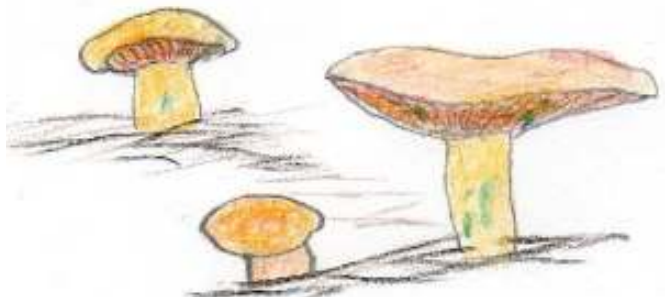


ハツタケ(食)

アカハツ

ベニタケ科。傘は5～10cm、傷つくと緑青色化する。美味しい食用キノコ。

ハツタケに似た味、両種食べ比べれば、違いもある。きざんでオムレツやピザの具、シチュー等洋風に良く合う。



アカハツ(食)

チチアワタケ

イグチ科。傘は4~10cm、表面は栗色~黄土色で強い粘性がある。管孔は黄色のち黄褐色、若い時黄白色の乳液を分泌。柄は密に粒点がある。

食用となり、ぬめりが強くナメコのように汁物に良く合う。柄は歯切れ良く、別にして焼いても良い。消化は良くないので、古いものや食べ過ぎに注意。



ショウロ

ショウロ科で美味な食用キノコ。卵形~扁球形、白色で径1.5~3cm、手でこすると淡赤褐色に変色する。肉は白色のち黄褐色、さわやかな香りがある。

歯ざわりは干しリンゴに似ており、お吸い物や炒め物、焼き物など味わいが楽しめる。

春と秋の2度クロマツの砂地に発生する。



テングタケ

傘は径4~25cm、生長すれば平らとなり、ついには中央部がくぼむ。

つぼ、つば、いぼ、を有し、テングタケ科の特徴を知るのに良い。金沢区ではクロマツの落葉のたまった場所に夏~秋発生する。

けいれん、嘔吐、幻覚、視聴覚障害等を起こす強い毒キノコである。



侍従川定例調査報告 学生部

11月21日(土) 晴れ

大潮●満潮04:59(181cm)16:04(182cm) ●干潮10:28(95cm)22:45(7cm)

参加者：幼児3名、小学生7名、中学生4名、大人4名、スタッフ2名

【ちとせ園(大道一丁目緑地)～長島橋】(中流域)10:20

水の色：透明 底質：礫、砂

生物：クサガメみ、メダカ、ボラ、チチブ、ウキゴリ、ピリンゴ、マハゼ、テナガエビ、ミソレヌマエビ、ヤマサナエ(幼虫)、コシボソヤンマ(幼虫)、ギンヤンマ(幼虫)、シオカラトンボ(幼虫) ※手網による採捕

備考：テナガエビがちとせ園前でもたくさんとれた。

(普段は汽水域…大道東橋～汐見橋でとれる)

【汐見橋】(下流域)13:35

水の色：透明 底質：砂、ヘドロ

生物：チチブ、ピリンゴ、マハゼ、チチュウカイミドリガニ ※釣りによる採捕

備考：侍従川水族館展示のための魚捕り時のデータ。

『大道中学校 ホトケドジョウ調査』 報告者：竹内久登

調査日：2010年10月30日(土) 9:30～12:00 天気：曇

気温：14.5℃ 水温：14.0℃ pH：7.6

DO(溶存酸素量)：5.92mg/l 流量：0.5ℓ/秒

ホトケドジョウ採捕尾数：35

ホトケドジョウ平均体長：39.54mm

その他の生物：カラゲラ sp 幼虫22匹、カワニナ19匹、ヤゴ類146匹、サワガニ5匹、ヘビトンボ sp 幼虫9匹、カゲロウ sp 幼虫8匹

感想：ホトケドジョウ尾数が夏に比べてかなり減少していました。

原因としては、夏調査後に水路が干上がってしまったか、水温が上昇して多数のホトケドジョウが死んでしまったのではないかと考えています。

調査実施者：日本大学 生物資源科学部

海洋生物機能化学研究室(病理学グループ) 6名

◆1月～3月の活動予定(1)◆

『ネイチャークラフト教室～森のつるでかご作り～』

1/9 (日) 9:00～16:00ぐらい 集合 9:00 大道小学校

『侍従川定例クリーンアップ～アシ刈り～』

1/23 (日) 9:00～12:00 集合 9:00 ちとせ園 (大道一丁目緑地)

※雨天延期…翌週日曜

★葦船学校★ 大道小学校共催

☆『葦刈り(1月度侍従川定例クリーンアップ)』

1/23 (日) 9:00～12:00 上記記載

☆『葦選別作業』

1/23 (日) 13:00～16:00ぐらい

場所 大道小学校

☆『葦選別束作り&葦笛教室』

1/29 (土) 9:00～16:00ぐらい

場所 大道小学校

・筆築(しちりき)教室…9:15～14:45 大道コミュニティハウス

・篠笛&パンフルート教室…13:00～15:00 15:00～17:00 大道コミュニティハウス

☆『葦選別束作り&葦笛教室』

1/30 (日) 9:00～16:00ぐらい 場所 大道小学校

葦笛教室…9:00～11:00 13:00～15:00

☆『葦船建造』

2/5 (土) 9:00～16:00ぐらい

場所 大道小学校

☆『葦船建造～完成式～』

2/6 (日) 9:00～16:00ぐらい

場所 大道小学校

☆『侍従川 川びらき～葦船乗船会～』

4月予定



◆1月～3月の活動予定(2)◆

『第6回子どもエコフォーラム』横浜市環境創造局・横浜市教育委員会 共催

2/26(土) 9:00～15:00 場所 西公会堂 ワークショップに出展

『侍従川定例クリーンアップ～ホタル生息地保全&粗朶作り～』

2/27(日) 9:00～12:00 集合 9:00 ちとせ園(大道一丁目緑地)

場所 大道中学校 ※雨天延期・翌週日曜

『侍従川定例調査&粗朶入れ～魚類の住処作り～』

2/27(日) 13:00～15:30ぐらい 集合 13:00大道小学校 ※雨天中止

『青少年 自然・社会体験活動 見本市(仮称)』

3/6(日) 10:00～15:00 場所 野島青少年研修センター

主催 (財)横浜市青少年育成協会 共催 横浜市こども青少年局(予定)

『侍従川定例クリーンアップ～花見～』

3/27(日) 9:00～12:00 集合 9:00 ちとせ園(大道一丁目緑地)

終了後、ちとせ園で花見(予定) ※雨天延期・翌週日曜

侍従川フォトギャラリー



キンクロハジロ 西澤博厚氏撮影

◆1月～3月の活動予定(3)◆

▼第26回横浜の水辺と緑を考える子ども会議▼

主催 横浜の水辺と緑を考える実行委員会

▽『第一回実行委員会』

1/10(月) 9:00～16:00ぐらい 場所 金沢自然公園ののほな館

集合 8:30 京急「金沢文庫」駅改札口(現地集合可)

▽『第二回実行委員会』

2/11(金) 9:00～16:00(予定)

▽『第26回横浜の水辺と緑を考える子ども会議』

3/27(日) 9:00～17:00ぐらい

場所 金沢自然公園ののほな館

集合 8:30 京急「金沢文庫」駅改札口(現地集合可)

★活動の詳細(持ち物など)は、
別途配布の活動予定又はホ
ームページをご覧ください。

<http://jijyukai.web.fc2.com/>

≪運営会議≫

毎月第四土曜18:00～20:00 場所 大道コミュニティハウス

*運営会議は、どなたでも参加できます。

【シンポジウムのお知らせ】

『みつけよう!緑のライフスタイル～フィールドのある暮らしの提案～』

2/12(土) 14:00～16:00 場所 港北公会堂 主催 横浜市環境創造局

「侍従川の話をするので、ご都合のつく方はぜひお越しください」(山田)

【助成金のお知らせ】

パタゴニア全16店舗から助成対象団体を選出し、店舗顧客がそれぞれ「支援したい」と思う団体パタゴニア全16店舗から助成対象団体を選出し、店舗顧客がそれぞれ「支援したい」と思う団体に投票、助成金額が決定するという『ボイス ユア チョイス』プログラムが、9/28～10/30行われました。

パタゴニア ベイサイド アウトレット店から、ふるさと侍従川に親しむ会が選出され、¥150,000の助成金をいただけることになりました。

侍従会は「2010年全労済地域貢献助成事業」の対象団体です。

≪編集後記≫今年は暖冬かと思いきや、ようやく冬らしくなってきました。1月～3月の活動は、盛りだくさんです。寒さに負けずにたくさんの参加をお願いします。(MK)